



世界への
プレゼントになろう

WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

- I. 真実かどうか
- II. みんなに公平か
- III. 好意と友情を深めるか
- IV. みんなのためになるかどうか

□会長 / 山梨 由博 □副会長 / 南條 恭有紀

□幹事 / 金丸 智昭 □副幹事 / 大杉 淳

例会日: 毎週月曜日 18:00~19:00

例会場: 静岡グランドホテル中島屋

事務所: 静岡市葵区追手町2-12 5F / TEL 054-254-5611

2015-2016年度RI会長 K. R. ラビンドラン 「Be a Gift to the World」

平成28年2月18日(木)

No.1214
第1285回 例会

ホームページ
アクセス数

2016.2.9

23493

2015.2.3

23447

ホスト: 静岡東ロータリークラブ

静岡市7クラブ合同例会

会場: ホテルアソシア静岡

♪ 本日のロータリーソング「我等の生業」 ● ソングリーダー: 佐野 哲一 会員

ホストクラブ会長代行挨拶



本日はご多忙中にもかかわらず市内7クラブ合同例会に御出席いただき誠にありがとうございます。おかげさまで200名を超える会員に御出席いただきました。

ホストクラブとして深く感謝申し上げます。なお本日の座席は各委員会ごとのテーブルとさせていただきます。日頃のロータリー活動に向けて各クラブと情報交換を行い、今後の活動に活用されることを願っております。



参加クラブ会長

- | | | | | | |
|----------|-------|----|---------|-------|------|
| ・静岡RC | 疋野 智男 | 会長 | ・静岡中央RC | 山梨 由博 | 会長 |
| ・静岡南RC | 竹野 雅己 | 会長 | ・静岡北RC | 津田 薫 | 会長 |
| ・静岡日本平RC | 芦澤 政弘 | 会長 | ・静岡東RC | 佐橋 徹 | 会長代行 |
| ・静岡西RC | 金原 康之 | 会長 | | | |

本日のクラブ参加者報告

静岡RC : 51名

静岡中央RC : 28名

静岡南RC : 15名

静岡北RC : 22名

静岡日本平RC : 29名

静岡東RC : 43名

静岡西RC : 23名

合計: 211名

静岡中央ロータリークラブ週報

クラブ会報委員会 / 海野 英之・久保田 美弘・針谷 潔・西野 元・平沼 龍三郎

ホームページ <http://shizuoka-chuo-rc.jp/> メールアドレス 6rc-godo@mail.wbs.ne.jp

講演

講師：同志社大学大学院
グローバル・スタディーズ研究科 教授
内藤 正典 様

～ 中東の崩壊とパリ同時多発テロ事件 ～

私は東京出身で一橋大学の大学院教授でしたが2010年に同志社大学・大学院がグローバル・スタディーズ研究科を作ってから京都に移り現在あちこちで講演をさせていただいています。

本日のお話の内容は決して明るい話ではないが「中東の崩壊」と「シリアの内戦」「イスラム国のテロ」そして「難民問題」です。

昨年夏以降メディアで「大変な数の難民が欧州に押し寄せた」というニュースが世間を騒がせた。昨年秋まで既に100万人近い『難民』が欧州を目指していたが、欧州の人々はそれを『移民』と呼んでいた。

現在シリアではアサド政権による恐怖の統治が行われているがシリア内戦で亡くなった方は一説には47万人とも言われている。終わらない内戦と近年のイスラム国の台頭が難民を作り出しているといわれるが事実はそのようではない。難民はISが台頭する前から300万人ほど存在していた。安倍総理はISの台頭で移民が生じたためISと戦う国に支援を行うと表明した。しかしアサド政権の専政に反対する反政府勢力も、もともと一般市民であり、その弾圧のためのアサド政権の無差別攻撃に市民が巻き込まれ、すでに2300万人の国民の半分は住居を無くしたか若しくは逃げ惑っている状態とも言われている。彼らは安全を求めて難民となった。難民はIS台頭以前からレバノン、トルコ、ヨルダン等に向かっていった。近年その難民がギリシャを渡って欧州へと向かっているが、その難民にテロリストが紛れ込み、パリでテロを起こした。誤解すべきでないのは、決して難民がテロ化したわけではない。

中東の崩壊が進んでいる。シリアは内戦、リビアも分裂、イラクも分裂している。アフガニスタンは全く治安が回復しない。イエメンも内戦でソマリアは事実上国家が崩壊、ナイジェリアでもボコ・ハラムの暴虐。エジプトも軍事クーデターで生まれた政権であり、いずれ治安悪化につながるだろう。サウジとイランは1月に入って国交断絶した。サウジはスンナ派の国、一方でイランはシーア派の国、単に宗派の違いだけではなく政治的な要素が対立の原因で、一触即発となっている。

現在ロシアはISへの攻撃を名目にシリア国内での爆撃を行っているが、実際はアサド政権への支援のため反政府勢力を壊滅することが目的。シリア北部はトルコ系の民族も存在しており、これにはトルコも反発を強めていた。10月のトルコによるロシア戦闘機爆撃もこういった背景から起こった。現状ではトルコとロシアは国交断絶までには至っていないが、仮にロシアがトルコを攻撃、もしくは先日のトルコでのテロもシリア系のクルド民族の犯行とのことで、今後トルコがいよいよシリアに進軍しロシアとの交戦が生じればトルコはNATO加盟国であるためNATOに対する集団的自衛権の行使を通じて第3次世界大戦に発展する恐れに繋がりがねない。

～全文はHPに掲載いたします～

